

育成会に積極的な参加を

育成会に誘われるもの
のどうしようとお考えの
皆さん、親同士が手をつ
なぎ合う意味を考えてみ
ませんか。

特別支援教育は平成
十九年に始まって六年目
を終えようとしています。

当初、特別支援教育は
「場の教育」から個々の
「ニーズの教育」へ」を
目指したものでした。果
たして、野洲市の学校・
地域は、すべてその方向
で、一人一人のニーズに

対応した教育の方向に向いてきたので
しょうか。確かに学校では特別支援学
級の数は増え、在籍するお子さんの人
数も増えてきています。また、野洲市
では他市町以上に特別支援教育事業に
精力的な取り組みを進めていたのだい
ています。

しかし、現状はまだただで、将来に
目を向けた時、自立と社会参加の方向
は未だ従来の課題を背負ったままの
状態にあるように思います。

今年度、育成会の新たな事業として
宿泊体験の事業がコミセンぎおうで
行われました。これは育成会の今後に
大いに期待できる事業であったように
思います。今までにびわこ学園や民家

をお借りして宿泊を通して自分が生活
の経験を積み重ねてきている親や子ど
もたちの取り組みの発展として、今後
の野洲市の育成会の方向を導くために
開催されたと言っても過言ではありません。
親同士が自ら支援者にも呼び
かけあつての事業で、支援を必要とす
る当事者の今後、将来のあるべき姿を
見せていただけたように思います。育成会には、
こうした事業だけでなく、会員の皆さ
んが月一度なかよし交流館に集い話し
合いを持つておられます。こころ行け
ば話を聞いてもらえ、壁のない話が
できる場のように思います。私は常々
この場に学校の教師たちの姿がないこ

とが気になっていきます。地域ぐるみの
活動の推進役の一人が教師ではないか
とも考えています。もともとこのこ
子たちの力になれる人たちが集う場
あつてほしいと考えています。

今後、ますます「野洲市手をつなぐ
育成会」の活動に地域の人的・物的資
源を巻き込んで、障がいの有無を問わ
ない「みんなが力合わせて暮らしやす
い」野洲市をぜひ創つてほしいと考え
ていきます。

最後に、育成会への参加をためらつ
ておられる方々の積極的な参加と更な
る野洲市の特別支援教育の推進に期待
しております。

大江健三郎氏の小説の中にこのよう
な台詞があります。「卒業して社会に
出て行く子どもらにむけて教師ができ
る本当の援助は、きみたちが生きてい
くこの現代社会はこういうものだとい
え、こういうところに気を付けてやっ
ていきなさいと言つてあげることだ
と。一かつてこれを読んだ私は、子ど
もたちに分かる言葉で、それぞれに分
かるやり方で、この社会のあり方や成
り立ちを教えるための術(すべ)と
教養を身に付けたいと切に願つたの
です。そして考えたのです。学校で行
うことすべて、この子たちが生きて
いく社会での歩き方(ピツタリした
言い方が思いつかないのです。)を教
えるためにはないかと。

最近はこちらも考えます。この社会か
ら子どもたちが「一息を少しでも減らさ
ないこと」を少しでも減らすにはど
うすればいいのかということ。も
しかするとみなさん、そのために手をつ
なぐ育成会があるのかもしれないと
思ふ。私たちが子どもたちの歩く薄暗い
道の足下を照らし、大きな石を取り除
く、そんなイメージです。めざすのは
この子たちにとつて歩きやすい社会で
す。しかもこの子たちが歩きやすい
社会は、辛い思いをしている人やお年
寄りにとつても生きやすい世の中にな
ります。そしてこれこそが豊かな社会
だと思ふのです。どうかみなさん、育
成会の活動こそが豊かな社会を創つて
いくことにつながると信じて、私たち
は「手をつなぐ」いきましよう。

(野洲市教育委員会)

初めに、今年度における野洲市手
をつなぐ育成会の活動にご尽力頂きま
した関係機関の皆さま、ならびにご協
力頂きました会員の皆さまに、心よ
りお礼申し上げます。

さて、今年度は第四十七回滋賀県
知的障がい者教育福祉振興大会が湖南
市において盛大に開催され、野洲市手
をつなぐ育成会からも多くの会員が
参加し有意義な一日となりました。

今年度における当会の主な目的は、
会員同士における繋がり第一に考え
共に野洲市において共生してゆく社会
への取り組みを、年間を通して活動の

中々皆さまと共に
考える機会を多く
つくることで、私
たちが必要として
いることについて話し合い、そしてそ
の方向性を会員が互いに共有するこ
とを目的と考へておりました。子ども
たちが自立してゆく地域社会のため
に、今年度は、宿泊体験事業をクロ
ズアップさせ青年は基より、小学生の
宿泊体験事業を活動に取り入れまし
た。子どもが寝てから、保護者同士の
語らいの時間を持つことができ、親睦
を深める意味でも有意義なものとな
りました。また今後野洲市においても必
要であるグループホーム、ケアホー
ムの充足についても私たちが今でき
ることをみんなで考える機会として、



小学生宿泊体験 (8/7~8)

ームへ、また十月の研修会では、
甲賀市の事業所見学など、多くの
参加者が積極的に活動した一年であつ
たと考へております。会員同士の触れ
合いを大切に考へ、今後も、充実した
活動を展開致します。

九月の親睦旅行で
は、伊賀の里モク
モク手づくりファ
ミリーができました。
五回開催するこ
とができました。

宿泊体験検討部会
を設置し、今年度
は五回開催するこ
とができました。

市内の小中学校の特別支援学級お
よび野洲養護学校の各部で卒業を迎え
られるみなさん、ご卒業おめでとう。

この写真は昨年の十月に野洲小学校
の体育館で行われた「ふれあい学習
会」のようすです。いろんなゲームを
して仲間と交流しました。また、休憩
時間も言葉をお交わしたり、一緒に遊
んだりしました。そうです。みなさんの
まわりにはたくさん仲間がいるので
す。どうか、これからの新しい生活を元
気がいっぱいください。時にはしん
どくなったり、悩んだりすることもあ
るでしょう。そんな時は遠慮しないで
相談してください。そのために仲間
や家族、たくさん
の支えてくださる
方がいるのです。
一人ひとり歩ん
だり違います、
それでいいです。

卒業おめでとうを
おめでとうございます

副会長 井上智子

私たちが「手をつなぐ」意味

井上善之



第8号 野洲市手をつなぐ育成会
発行 三河 聡
印刷所 三河印刷
作業所 三河印刷
TEL 588-0503

自立をめざして

多機能な生活拠点プロジェクト「宿泊体験事業部会」の取り組みから紹介します。

自立を目標に 男子チーム

平成二十年五月から年齢も近く同じ作業所に通う三人の息子達が、自立を目標に始めた月一回、一泊二日の宿泊体験も五年目になります。当初守山の浮気にある古民家をお借りしてのスタートでしたが、二年前の十月からは祇王にある古民家、通称「中北の家」をお借りしてお泊り体験をしています。順番に親当番を決めて宿泊の段取りをしていくのですが、その中で一番大変なのは彼等と共に泊まり係わって頂くボランティアさんを探す事です。今は福祉関係にお勤めの方々を中心にお願いしていますが、都合が付かないと同じ方に続けて無理をきいて頂いたりして繋げています。当初受身だった彼等も今では、自分達が意識も変化し循環バスを利用して自力で「中北の家」まで帰って来たり、食事の準備も自分で出来る事を担当し三人の中で自然とルールが出来てきました。少しずつですが目標に近づいている彼等をこれからも応援して行きたいと思っています。

(山本清子)



自立を自ざして 女子チーム

女性グループ「いろえんぴつ」は、二十年前半から三十代後半の六名で、昨年一月から毎月第三土曜日に宿泊体験を実施しています。まず、福祉サービスを利用してボーリングやカラオケ等仲間と過ごす日中活動を行い、一年後から宿泊へと活動の幅を広げました。

宿泊では、二名のボランティアの方にサポートしていただきながら、夕食作りでは自分達でメニューを考え、親当番が食材を用意し、調理も自分達で行います。回を重ねる毎に自然に役割分担ができて、協力し合う姿が見られるようになりました。宿泊体験を通じて少しずつ自分で生活する力と自信を身に付けてきたと実感しています。



「自立」へのプロセスは様々ですが、この取り組みが、将来親亡き後も地域で安心して暮らせる居場所作りに繋がるように、今後も活動を続けたいと思っています。

(角谷美喜子)

親睦バーベキューに参加しました

ずっと、育成会の会員でありながら、今回初めて育成会の行事に参加させてもらいました。

今まで、なかなか参加できる機会がなかったというのがありますが、実際、どんな人が、どんな感じかというと、この中にも不安があり、参加しようとする積極的にならなかつたのがあります。

そんな感じでも参加したバーベキュー大会でしたが、市内のたくさんの方の作業所や、団体の方が集まっておられ、とても和やかな雰囲気でした。

うちの子どもは小学五年生で、参加した中では最年少ではないかと思いましたが、一番、食べていたように思いました。

特別に、何かをさせられるわけでもなく、琵琶湖の近くでおいしいお肉に囲まれて、今まで参加しなかつたのか...と、後悔すら感じられるくらい時間でした。

会員の方で、特に、まだ小学校からいの子どもさんをお持ちの方は、私が思っていたように「なかなか参加しようと思えない」という方が多いかと思えます。

毎年行われている行事のひとつです。次回是非、皆様も参加してみたいかがでしょうか。なぜか、小学生四人くらいしかいなかったんです。ちよつと、寂しかったんです。

ちなみに、最後のビンゴゲームでは、美味しいお米も頂きました。

ありがとうございました。

(中島道子)

2012(平成24)年度 野洲市手をつなぐ育成会 事業報告

月	日	事業内容
5	9	滋賀県手をつなぐ育成会通常総会
5	27	役員会(幹事・評議員)
6	2	第8回障がい者スポーツ大会(やすりんピック) <障団協主催>
6	3	野洲市手をつなぐ育成会通常総会
6	30	チャリティーバザー開催(於: アルプラザ野洲)
7	1	第31回滋賀県スペシャルスポーツカーニバル(於: 長浜ドーム)
7	27	野洲市福祉交流事業・バーベキュー <障団協主催>
8	5	なかよし農園夏祭り <なかよし農園実行委員会主催>
8	7-8	小学生宿泊体験(於: コミセンぎおう)
9	23	会員親睦旅行 伊賀の里モクモク手づくりファーム
10	13	なかよし農園収穫祭 <なかよし農園実行委員会主催>
10	25	研修会 甲賀作業所見学
10	27	スポーツカーニバル2012 <なかよし交流館主催>
11	23	にっこりに出店
11	25	第47回滋賀県知的障がい者教育福祉振興大会(於: 甲西文化ホール)
12	1	映画会「名荷村見聞記」 <障団協主催>
12	8	研修会 寄せ植え教室
2	23	役員会(幹事・評議員)
3	4	広報「きらきら」発行
3	9	福祉を進める懇談会 <障団協主催>
		○茶話会(4/14、5/12、7/14、8/11、9/8、10/13、11/10、12/8、1/12、2/9、3/9)
		○宿泊体験検討部会(4/22、7/8、10/21、1/20、3/3)

○手をつなぐ育成会には多くの方々の温かい協賛をいただいております。ありがとうございます。今後ともよろしくお願ひします。

親睦旅行 もくもくファーム



九月二十三日、三重県のモクモクファームに行ってきました。あいにくの雨でしたが、バーベキューを楽しんでいるうちに雨も上がり、ファームの中を散策、しいたけ狩り、乗馬、ザリガニつり、ブタのショーをそれぞれ楽しめました。

帰り際には足湯につかり、ホッコリ日常の疲れが癒された一日でした。

(西村由美)